

日本経済政策学会
第 72 回全国大会 プログラム

大会テーマ
「現代の経済政策学と社会的公正」

日時 2015 年 5 月 30 日(土) 10:30~18:10
2015 年 5 月 31 日(日) 9:30~17:25

国士舘大学

第72回全国大会 大会プログラム委員会

小澤太郎(慶應義塾大学)〔委員長〕, 内山敏典(九州産業大学), 前田章(東京大学), 角本伸晃(椙山女学園大学), 永富隆司(国士舘大学), 石山健一(国士舘大学), 瀬野隆(国士舘大学), 田中康秀(岡山商科大学), 柳川隆(神戸大学), 田中秀幸(東京大学), 酒井邦雄(愛知学院大学), 千田亮吉(明治大学), 土井教之(関西学院大学), 林直嗣(法政大学), 松本保美(早稲田大学), 小林甲一(名古屋学院大学), 秋山優(九州産業大学), 佐藤秀樹(九州産業大学)

第72回全国大会 大会運営委員会

永富隆司(国士舘大学)〔委員長〕, 石山健一(国士舘大学)〔幹事〕, 瀬野隆(国士舘大学), 青木俊介(国士舘大学), 藤本公明(国士舘大学), 三輪晋也(国士舘大学), 川村哲章(国士舘大学), 矢崎隆夫(国士舘大学), 黒岩直(国士舘大学), 谷合高行(国士舘大学)

大会運営委員会 事務局

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1 国士舘大学 政経学部
永富隆司 研究室(822B) 気付

Voice: 03-5481-3151 (政経学部事務局) Fax: 03-5481-3153 (政経学部事務局)
E-mail: jepa2015@kokushikan.ac.jp

大会趣意書

現代の経済政策学は現代経済学の論理の上に構築されており、その現代経済学の論理は近代経済学が展開してきた価格メカニズムの有効性を受容することによって成立している。そして、この価格メカニズムはその価値論において限界効用価値説の有効性にその論理の基礎を置いている。したがって、そこにおける政策的価値判断基準は限界効用学説の効用価値理論に基づいて行われる。この効用価値理論に基づけば、最も効用の高い部門や人材等に最も高い価値を置き、最も大きい配分を行うことが正当であるとしている。その結果、ある場合には社会的公正という観点から見ると容認しがたい格差が必然的に生じ、そうした格差は社会的に見て容認すべき公正なものであるのかという論争を生み出している。

東西冷戦の終結以降の現代では、ほとんど全ての諸国の経済社会がグローバルに一体化された世界市場経済に移行している。国際的な自由貿易機構、世界的なバンキング・システムの統合化およびIT革命とネット社会、民主主義の実現が、これを可能にした主な要因であるが、そこでは近代社会の存立の基盤であった主権国家の領域が日増しに浸食され、国家主権の壁は常に引き下げられてきている。アメリカの債権国化とともに始まった国際的なリーダーシップの衰退によって様々な地域統合や経済連携の動きが加速したが、その中で所得格差や経済格差といった諸国家間の格差の問題が表面化し、国内的にも、あるいは世界的にも、格差問題は経済政策上において解決すべき課題としてますます浮き彫りにされてくるようになった。

経済政策における価値判断は、現代では、以上のような現代史的観点を梃子の力点として置かれなければならない。またそうしなければ「賢明な」価値判断に到達することはほとんどできそうにない。経済政策の価値判断の対象となる現代経済社会の作用点としての課題は幾つも存在する。それは、地球規模の環境破壊や自然災害、資源枯渇やエネルギー不足、人口の地域的アンバランスの進行、先進国と途上国の対立と協調、地域統合の進展と統合システムの不完全性、地球規模で一体化する市場経済と迷走するガバナンス等々のグローバルな問題から、ひとり一人の生活環境の改善や所得格差の是正、公平や平等への要求、適切な公共サービスの請求など国内的、地域的、個人的なレベルのものまで実に多様である。

これらの課題のいずれもが、グローバル経済時代が生み出した経済現象でもある。そして、こうした切迫した経済政策上の課題を解決するために、格差を是認し、それこそが改善・改革へのインセンティブであるとする、いわゆる市場経済システムの自動調整機能だけに委ねられていて良いものであるのかについて、改めて検討を加える必要があるであろう。

5月30日（土曜日）			
会場：中央図書館 地下1階 多目的ホール			
特別セッション		共通論題セッション	
第Ⅰ部		第Ⅱ部	
10:40 ～ 12:00	14:00 ～ 15:40	16:00 ～ 18:10	
座長	講演 座長	パネル・ディスカッション コーディネーター	
松本 保美（早稲田大学）	瀨野 隆（国士舘大学）	中村 まづる（青山学院大学）	
※ 特別セッション			
[テーマ] 「アマルテイヤ・センの哲学とその政策的含意」			
[講演] 「経済政策論の哲学的・経済学的基礎：先験的的制度主義 vs. 帰結比較接近法」 鈴木 興太郎（一橋大学, 早稲田大学）			
[講演] 「リベラル・バロツクスから潜在能力アプローチへ：A.センにおける権利概念の深化」 後藤 玲子（一橋大学）			
※ 共通論題セッション			
[テーマ] 「経済格差問題の本質と問題解決の為の政策的取組を総括する：潜在能力仮説，ベーシックインカムからの哲学から『21世紀の資本』まで」			
[講演] 「所得格差が経済・社会にもたらす影響」 駒村 康平（慶応義塾大学）			
[講演] 「経済格差問題へのアプローチ」 大塚 耕平（参議院議員・中央大学大学院・早稲田大学）			
[講演] 「経済格差問題の本質と問題解決の為の政策的取組を総括する：潜在能力仮説，ベーシックインカムからの哲学から『21世紀の資本』まで」			
稲葉 振一郎（明治学院大学）			
[パネリスト] 荒山 裕行（名古屋大学） 稲葉 振一郎（明治学院大学） 大塚 耕平（参議院議員・中央大学大学院・早稲田大学）			
駒村 康平（慶應義塾大学） 福重 元嗣（大阪大学）			

5月31日 (日曜日)									
会場: 34号館 2階~4階 教室									
午 前 の 部	セッション I-1	セッション I-2	セッション I-3	セッション I-4	セッション I-5	セッション I-6	セッション I-7	セッション I-8	
	9:30 ~ 11:45	9:30 ~ 11:45	9:30 ~ 11:45	9:30 ~ 11:45	9:30 ~ 11:45	9:30 ~ 11:45	9:30 ~ 11:45	9:30 ~ 11:45	
	【企画セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】
	社会インフラの再検討	環境政策	家計行動	社会保障	産業・競争政策 (1)	労働政策 (1)	市場・企業 (1)	市場・企業 (1)	エネルギー政策 (1)
	座長 横山 彰 (中央大学)	座長 松本 保美 (早稲田大学)	座長 内山 敬典 (九州産業大学)	座長 小林 甲一 (名古屋学院大学)	座長 酒井 邦雄 (愛知学院大学)	座長 吉田 良生 (相山女子学院大学)	座長 小峰 隆夫 (法政大学)	座長 井手 秀樹 (慶應義塾大学)	
午 後 の 部 (I)	セッション II-1	セッション II-2	セッション II-3	セッション II-4	セッション II-5	セッション II-6	セッション II-7	セッション II-8	
	12:45 ~ 15:00	12:45 ~ 15:00	12:45 ~ 15:00	12:45 ~ 15:00	12:45 ~ 15:00	12:45 ~ 15:00	12:45 ~ 15:00	12:45 ~ 15:00	
	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】
	医療	エネルギー政策 (2)	農業政策	労働政策 (2)	市場・企業 (2)	社会政策	政策原理	国際経済 (1)	
	座長 永富 隆司 (国士館大学)	座長 前田 章 (東京大学)	座長 荒山 裕行 (名古屋大学)	座長 田中 康秀 (岡山商科大学)	座長 土井 教之 (関西学院大学)	座長 佐藤 秀樹 (九州産業大学)	座長 瀬野 隆 (国士館大学)	座長 秋山 優 (九州産業大学)	
午 後 の 部 (II)	セッション III-1	セッション III-2	セッション III-3	セッション III-4	セッション III-5	セッション III-6	セッション III-7		
	15:10 ~ 17:25	15:10 ~ 17:25	15:10 ~ 17:25	15:10 ~ 17:25	15:10 ~ 17:25	15:10 ~ 17:25	15:10 ~ 17:25		
	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】	【自由論題セッション】		
	産業・競争政策 (2)	金融市場	エネルギー政策 (3)	財政政策	地域政策・地方財政	市場・企業 (3)	国際経済 (2)		
	座長 柳川 隆 (神戸大学)	座長 林 直嗣 (法政大学)	座長 田中 秀幸 (東京大学)	座長 千田 亮吉 (明治大学)	座長 角本 伸晃 (相山女子学院大学)	座長 小澤 太郎 (慶應義塾大学)	座長 鎌田 亨 (名古屋商科大学)		

※ 各セッションの教室割は大会当日、受付にてお知らせいたします。

大会第1日目 5月30日(土)

- ・ 受付 <中央図書館 地下1階 多目的ホール> 9:30～

- 1 開会の挨拶 <中央図書館 地下1階 多目的ホール> 10:30～10:40
大会運営委員会 委員長 永富 隆司 (国士舘大学)
開催校 学長 三浦 信行 (国士舘大学)

- 2 特別セッション 「アマルティア・センの哲学とその政策的含意」
<中央図書館 地下1階 多目的ホール> 10:40～12:00
座長 松本 保美 (早稲田大学)
 - (1) 経済政策論の哲学的・経済学的基礎:先験的制度主義 vs. 帰結比較接近法
講演者 鈴木 興太郎 (一橋大学, 早稲田大学)

 - (2) リベラル・パラドックスから潜在能力アプローチへ: A.センにおける権利概念の
深化
講演者 後藤 玲子 (一橋大学)

- ・ 昼食 <1号館, 8号館, 34号館 学生食堂(地下1階)> 12:00～13:10

- ・ 理事会(昼食) <メイプル・センチュリー・ホール 4階 中教室> 12:05～13:05

- 3 総会 <中央図書館 地下1階 多目的ホール> 13:10～13:50

- 4 共通論題セッション 「経済格差問題の本質と問題解決の為の政策的取組を総括
する: 潜在能力仮説, ベーシックインカムの哲学から『21世紀の資本』まで」

第Ⅰ部 講演

＜中央図書館 地下1階 多目的ホール＞ 14:00～15:40

座長 瀬野 隆 (国士舘大学)

(1) 所得格差が経済・社会にもたらす影響

講演者 駒村 康平 (慶応義塾大学)

(2) 経済格差問題へのアプローチ

講演者 大塚 耕平

(参議院議員・中央大学大学院・早稲田大学)

(3) 「経済格差問題の本質と問題解決の為の政策的取組を総括する:潜在能力仮説,ベーシックインカムから『21世紀の資本』まで」

講演者 稲葉 振一郎 (明治学院大学)

第Ⅱ部 パネル・ディスカッション

＜中央図書館 地下1階 多目的ホール＞ 16:00～18:10

コーディネーター 中村 まづる (青山学院大学)

パネリスト 荒山 裕行 (名古屋大学)

稲葉 振一郎 (明治学院大学)

大塚 耕平 (参議院議員)

駒村 康平 (慶應義塾大学)

福重 元嗣 (大阪大学)

・懇親会 <34号館 10階 スカイラウンジ> 18:30～20:30

参加費： 一般会員 3,000 円 学生会員 2,000 円

(当日, 大会受付ならびに懇親会会場にて受付いたします.)

開催校 理事長 大澤 英雄 (国士舘大学)

大会第2日目 5月31日(日)

・受付 <34号館 1階 エントランス・ホール> 9:00～

- 自由論題報告は一人当たり 45分 (報告 25分, 討論者によるコメント 10分, 報告のリプライおよびフロアとの質疑 10分)
- 「※」は学生会員であることを示します.
- 報告者の並びは論文著者の並びです.
- 各セッションの教室割は大会当日, 受付にてお知らせいたします.

I 午前の部 9:30 ~ 11:45

○ 企画セッション

I-1 社会インフラの再検討

座長 横山 彰 (中央大学)

(1) 子育て支援に関わる社会インフラの整備とサービスに関する研究

報告者 横山 彰 (中央大学)
中澤 克佳 (東洋大学)
矢尾板 俊平 (淑徳大学)
討論者 廣野 桂子 (日本大学)

(2) 水道インフラの維持・更新と地方財政への影響

報告者 長峯 純一 (関西学院大学)
討論者 中山 徳良 (名古屋市立大学)

(3) インフラとしてのオープンデータ —政府・自治体データのオープン化が日本経済に及ぼす影響—

報告者 田中 秀幸 (東京大学)
高木 聡一郎 (東京大学)
討論者 鶴飼 康東 (関西大学)

○ 自由論題セッション

I-2 環境政策

座長 松本 保美 (早稲田大学)

- (1) 開放経済における越境汚染と民営化
報告者 大野 正久 (熊本大学)
討論者 前田 章 (東京大学)
- (2) 開発援助における戦略的環境アセスメントの制度に関する基礎的考察
報告者 二宮 浩輔 (山梨県立大学)
討論者 李 秀澈 (名城大学)
- (3) 2つの局所的な国際環境協定の実現 - 繰り返しゲームによる考察 -
報告者 高島 伸幸 (九州大学)
討論者 岡崎 哲郎 (拓殖大学)

I-3 家計行動

座長 内山 敏典 (九州産業大学)

- (1) 子ども数が生活満足度を与える影響の国際比較
報告者 松浦 司 (中央大学)
 影山 純二 (明海大学)
討論者 萩原 里紗 (明海大学)
- (2) Household Income Based on a Broad View of Production
報告者 伊代田 光彦 (桃山学院大学)
討論者 千田 亮吉 (明治大学)
- (3) Levered Loss theory (LL理論) の日本での妥当性 - 家計債務, 所得, 消費支出を中心として -
報告者 岩本 千晴 (中央大学) ※
討論者 矢口 和宏 (東北文化学園大学)

I-4 社会保障

座長 小林 甲一 (名古屋学院大学)

- (1) 消費税は若年・老年の両世代によってシェアされるべきか？
報告者 仲間 瑞樹 (山口大学)
討論者 芹沢 高斉 (淑徳大学)

- (2) ダスグプタ [2007] の福祉の測定方法を用いた教育と医療が有償で供給される
富裕国の格差社会のモデルの一考察
報告者 椿 光之助 (山口大学) ※
討論者 塚原 康博 (明治大学)

- (3) 女性雇用と年金負担が出生率に及ぼす影響
報告者 村田 慶 (静岡大学)
林 馨卿 (静岡大学) ※
討論者 今泉 博国 (福岡大学)

I-5 産業・競争政策 (1)

座長 酒井 邦雄 (愛知学院大学)

- (1) マイクロソフト社の事例からソフトウェア産業の競争政策を考える
報告者 長谷川 雄哉 (神戸大学) ※
討論者 鈴木 恭蔵 (東海大学)

- (2) 産業政策の中立性の研究
報告者 和田 美憲 (同志社大学)
討論者 柳川 隆 (神戸大学)

- (3) Successive Oligopoly with Pricing Power in Upstream Market
報告者 水野 倫理 (神戸大学)
討論者 村田 省三 (長崎大学)

I-6 労働政策 (1)

座長 吉田 良生 (椙山女学園大学)

- (1) Work-Life Balance and Life Satisfaction: A Cross-Country Empirical Study
報告者 野田 英雄 (東京理科大学)
討論者 川野辺 裕幸 (東海大学)
- (2) 労働者のスキル習得と企業の生産方法 - 社会厚生観点から -
報告者 福間 比呂志 (熊本学園大学) ※
討論者 鈴木 伸枝 (駒澤大学)
- (3) アイデンティティ経済学と共稼ぎ夫婦の妻の家事労働行動: JPSC2000 - 2008
パネルデータを用いた実証分析
報告者 安藤 潤 (新潟国際情報大学)
討論者 坂西 明子 (奈良県立大学)

I-7 市場・企業 (1)

座長 小峰 隆夫 (法政大学)

- (1) 報告キャンセル
- (2) ヘドニック価格関数による住宅の評価と情報の開示の提案
報告者 廣野 桂子 (日本大学)
討論者 前川 俊一 (明海大学)
- (3) 企業ガバナンスが長期雇用慣行に与える影響
報告者 岡本 弥 (神戸学院大学)
松浦 司 (中央大学)
討論者 勇上 和史 (神戸大学)

I-8 エネルギー政策 (1)

座長 井手 秀樹 (慶應義塾大学)

- (1) 予算制約における除染と避難の代替性 — 原子力災害を事例として —
報告者 藤本 典嗣 (福島大学)
討論者 山口 純哉 (長崎大学)
- (2) 連続寡占市場としての電力市場
報告者 山根 啓太 (神戸大学) ※
討論者 田中 悟 (神戸市外国語大学)
- (3) 分散型電源大量導入時における地域冷暖房システムを用いた余剰電力対応の
経済評価
報告者 花田 真一 (金沢星稜大学)
大橋 弘 (東京大学)
市村 順一 (東京ガス)
進士 誉夫 (東京ガス)
須澤 健太郎 (東京ガス)
藤原 純 (東京ガス)
討論者 穴山 悌三 (東京電力)

II-1 医療

座長 永富 隆司 (国土舘大学)

(1) がん検診無料クーポンの受診率向上効果

報告者 上村 一樹 (東洋大学)

討論者 佐川 和彦 (駿河台大学)

(2) Socio-Economic Status, Physical Functions and Mental Health of Older Adults in Japan

報告者 中野 あい (神戸大学)

討論者 滝 麻衣 (洛和会音羽病院)

(3) 医療費の地域間格差に関する将来推計と要因分解

報告者 大野 太郎 (尾道市立大学)

討論者 宮本 守 (関東学院大学)

II-2 エネルギー政策 (2)

座長 前田 章 (東京大学)

(1) 家計によるエネルギー源選択のコンジョイント分析

報告者 木下 信 (龍谷大学)

討論者 柘植 隆宏 (甲南大学)

(2) 原発の所有形態と電力市場の効率性: NOME 法と公的所有の比較

報告者 生田 祐介 (神戸大学) ※

柳川 隆 (神戸大学)

討論者 長屋 真季子 (昭和女子大学)

(3) 世帯の電力需要関数及び非効率性に関する実証分析

報告者 田中 拓朗 (神戸大学) ※

討論者 鳥居 昭夫 (中央大学)

Ⅱ-3 農業政策

座長 荒山 裕行（名古屋大学）

- (1) 農家における労働力雇用の関連要因
報告者 小島 宏（早稲田大学）
討論者 衣笠 智子（神戸大学）
- (2) 矛盾, 過程からみる農業政策分析 - 時空間軸のミクローマクロを用いて -
報告者 土屋 翔（神奈川大学）※
討論者 外園 智史（九州産業大学）
- (3) 水産物における消費者行動の分析
報告者 森 邦恵（下関市立大学）
討論者 八木 信行（東京大学）

Ⅱ-4 労働政策 (2)

座長 田中 康秀（岡山商科大学）

- (1) ホワイトカラー・エグゼンプションの政策評価
報告者 石綿 寛（中央大学）※
討論者 吉田 良生（椙山女学園大学）
- (2) 経済成長とフォーマル・インフォーマル就業者の雇用比率
報告者 菊本 斯琴（大阪経済大学）
討論者 谷口 洋志（中央大学）
- (3) 女性の就業状況の地域差についての考察 — 就業時間の分析を中心に —
報告者 坂西 明子（奈良県立大学）
討論者 松浦 司（中央大学）

II-5 市場・企業 (2)

座長 土井 教之 (関西学院大学)

(1) ベトナム製造企業の集計生産性成長率の計測と要因分解

報告者 VU THI BICH LIEN (名古屋大学)

園田 正 (名古屋大学)

討論者 張 星源 (岡山大学)

(2) ASEAN Economic Community による日本企業の戦略への影響 - 生産要素移動の自由化と Human Resource Management -

報告者 土井 康裕 (名古屋大学)

萬 知恵 (名古屋大学)

平松 唯奈 (名古屋大学) ※

討論者 洞口 治夫 (法政大学)

(3) イノベーションの知識源としての大学の役割

報告者 西川 浩平 (摂南大学)

金間 大介 (東京農業大学)

討論者 明石 芳彦 (大阪市立大学)

II-6 社会政策

座長 佐藤 秀樹 (九州産業大学)

(1) 公的介護制度改革と経済厚生 - 人口成長率を内生化したモデルによる考察 -

報告者 伊藤 健宏 (岩手県立大学)

迫 一光 (高千穂大学)

討論者 和泉 徹彦 (嘉悦大学)

(2) 教育選択と出生率および経済成長

報告者 村田 慶 (静岡大学)

討論者 安藤 潤 (新潟国際情報大学)

(3) 警察サービスの効率性とその要因に関する実証分析

報告者 赤松 礼奈 (徳山大学)

討論者 本間 聡 (東海大学)

II-7 政策原理

座長 瀬野 隆 (国士舘大学)

- (1) グローバル格差社会と経済民主化 - 社会的調和を考慮した経済政策のあり方について -

報告者 朴 哲洙 (熊本学園大学)

討論者 小林 甲一 (名古屋学院大学)

- (2) 災害支援制度と地方自治体の減災努力に関する理論分析

報告者 萩原 史朗 (神戸学院大学)

討論者 角本 伸晃 (椙山女学園大学)

- (3) 社会的公正の分析視点

報告者 塚田 広人 (山口大学)

討論者 古河 幹夫 (長崎県立大学)

II-8 国際経済 (1)

座長 秋山 優 (九州産業大学)

- (1) ユーロ圏離脱及びEU脱退の法的課題

報告者 久保 広正 (摂南大学)

討論者 佐々木 昇 (福岡大学)

- (2) 体制移行後のポーランド自動車産業における外国直接投資 - 脱経路の可能性について -

報告者 岡崎 拓 (神戸大学) ※

討論者 家本 博一 (名古屋学院大学)

- (3) 複数錐型ヘクシャー＝オリーン・モデルに基づく資本・労働比率と産出量の実証研究 - 欧州連合24か国の分類と要素価格均等化 -

報告者 鈴木 健介 (名古屋大学)

討論者 本田 圭市郎 (熊本県立大学)

Ⅲ-1 産業・競争政策 (2)

座長 柳川 隆 (神戸大学)

- (1) MVNOの普及における規制対象と促進の是非
報告者 柴田 怜 (富山短期大学)
討論者 春日 教測 (甲南大学)
- (2) ハブ・アンド・スポーク化と密度の経済
報告者 呉 競成 (法政大学) ※
討論者 竹内 健蔵 (東京女子大学)
- (3) プラスチック産業の市場構造
報告者 荒井 弘毅 (秀明大学)
討論者 小柳津 英知 (富山大学)

Ⅲ-2 金融市場

座長 林 直嗣 (法政大学)

- (1) 日本における金利の期間構造と非伝統的金融政策
報告者 佐竹 光彦 (同志社大学)
金丸 誠克 (株式会社オーグス総研)
討論者 中澤 正彦 (京都大学)
- (2) 日本経済を映すセンチメントの計量化と株価予測性
報告者 石島 博 (中央大学)
数見拓朗 (株式会社 サイバーエージェント)
前田 章 (東京大学)
討論者 飯田 泰之 (明治大学)
- (3) 金融政策が企業の設備投資に与える影響－VARモデルに基づく考察
報告者 蟹澤 啓輔 (明治大学) ※
討論者 中平 千彦 (諏訪東京理科大学)

Ⅲ-3 エネルギー政策 (3)

座長 田中 秀幸 (東京大学)

- (1) 安全規制と事業者努力 (原子力安全の事例考察)
報告者 穴山 悌三 (東京電力)
討論者 田中 廣滋 (中央大学)
- (2) EU のエネルギー政策から学ぶ日本の電力システム改革への示唆
報告者 秋山 健太郎 (星城大学)
討論者 木船 久雄 (名古屋学院大学)
- (3) 地域共生型スマートコミュニティ推進の必要性 ～スマートコミュニティは地域に循環型社会をもたらすか～
報告者 内野 善之 (東京工業大学)
討論者 牛房 義明 (北九州市立大学)

Ⅲ-4 財政政策

座長 千田 亮吉 (明治大学)

- (1) 失業を含む動学的一般均衡モデルにおける生産力効果を持つ公共投資の効果
報告者 平賀 一希 (東海大学)
討論者 矢野 浩一 (駒澤大学)
- (2) 財政再建政策の実施と効果：議院内閣制諸国における政治経済的要因
報告者 中西 一 (佐賀大学)
討論者 飯島 大邦 (中央大学)
- (3) エッジワース補完性と財政政策の効果について：DSGE モデルによるアプローチ
報告者 酒井 才介 (財務省財務総合政策研究所)
小寺 剛 (京都大学経済研究所)
荒木 大恵 (帝塚山大学)
中澤 正彦 (京都大学経済研究所)
石川 大輔 (財務省財務総合政策研究所)
中沢 伸彦 (財務省財務総合政策研究所)

神代 康幸 (財務省財務総合政策研究所)
討論者 平賀 一希 (東海大学)

Ⅲ-5 地域政策・地方財政

座長 角本 伸晃 (相山女学園大学)

- (1) 中核市5都市の財政状況等にみる人口の与える影響
報告者 谷合 高行 (国士舘大学) ※
討論者 川崎 一泰 (東洋大学)
- (2) 地域イノベーション・システムにおける方法論の検討
報告者 段 潤 (東京大学) ※
討論者 諸賀 加奈 (九州大学)
- (3) 下水道事業の収支構造の要因分析
報告者 須田 茂夫
討論者 水田 健一 (名古屋学院大学)

Ⅲ-6 市場・企業 (3)

座長 小澤 太郎 (慶應義塾大学)

- (1) 企業の破産処理手続きとしての再建計画合意ルールの比較分析
報告者 吉田 友紀 (九州大学)
討論者 佐藤 秀樹 (九州産業大学)
- (2) 模倣食品市場の経済分析 - フィールドワークによる東南アジア市場のケース・スタディー -
報告者 土門 晃二 (早稲田大学)
討論者 野村 宗訓 (関西学院大学)
- (3) 公益事業における長期的監査と民営化
報告者 舘 健太郎 (駒澤大学)
齋藤 雅元 (東京経済大学)
討論者 瀧澤 弘和 (中央大学)

Ⅲ-7 国際経済 (2)

座長 鐘田 亨 (名古屋商科大学)

(1) 今後の中国経済と貿易戦略

報告者 田代 尚機 (TS・チャイナ・リサーチ(株))

討論者 孫根 志華 (城西国際大学)

(2) 日本の農業部門の TPP 活用に向けて — 農業部門の国際競争力育成を目指す TPP の活用に向けた理論的・歴史的分析 —

報告者 寺西 都晃 (鈴鹿国際大学)

討論者 園田 正 (名古屋大学)

日本経済政策学会 第72回全国大会について

【報告者・座長・予定討論者の皆様へ】

- ◆ 各報告の時間配分は、報告 25 分、予定討論者によるコメント 10 分、報告のリプライおよびフロアとの質疑 10 分を原則とします。
- ◆ 配布資料は、報告者各自でご準備の上、当日ご持参ください。大会前および大会当日とも、事務局では資料の印刷はできません。また、保管場所・保管責任等の都合上、事前に資料をお預かりすることもできません。
- ◆ 各会場には、パソコン、プロジェクターが標準装備されております。報告用ファイルは、USB 対応フラッシュメモリで当日ご持参ください。(持ち込み PC のご利用はご遠慮ください。)
- ◆ 大会参加が不可能になった場合は、速やかに大会運営委員会までご連絡ください。(大会当日も含む)

電話：03-5481-3151, Fax：03-5481-3153 (政経学部事務室)

電子メール：jepa2015@kokushikan.ac.jp (委員長 永富隆司まで)

【大会参加登録 および 懇親会参加申し込み について】

- ◆ 大会参加費は無料です。当日受付カウンターにて参加登録を行ってください。
- ◆ 懇親会(会員限定)は、当日受付にてお申し込みください。会費は一般会員 3,000 円、学生会員 2,000 円となっております。会員相互間の交流の活発化、情報の交換等にご活用いただきたく存じます。会員の皆様におかれましてはぜひお越しください。

【昼食について】

- ◆ 大会初日は1号館、8号館、34号館、それぞれの建物の地下1階にあります学生食堂をご利用ください。また、大会2日目につきましては、学内の食堂は営業しておりませんので、大学近郊のレストラン、コンビニエンス・ストア等をご利用ください。なお、両日ともお弁当の用意はございません。

【非会員の方の参加について】

- ◆ 非会員の方も大会に参加することが可能です。当日、会場の受付カウンターにて参加申し込みの手続きをお取りください。

【後援】

- ◆ 本大会は、創立 100 周年(2017 年)を迎えます国士舘大学および本学政経学部の後援を受けております。

【大会事務局 および 当日の受付について】

- ◆ 大会事務局の連絡先は、以下の通りです。

〒 154-8515 東京都 世田谷区 世田谷 4-28-1 国士舘大学政経学部
永 富 隆 司 研究室 (822B)

E-mail : jepa2015@kokushikan.ac.jp

電 話 : 03-5481-3151 (政経学部事務室)

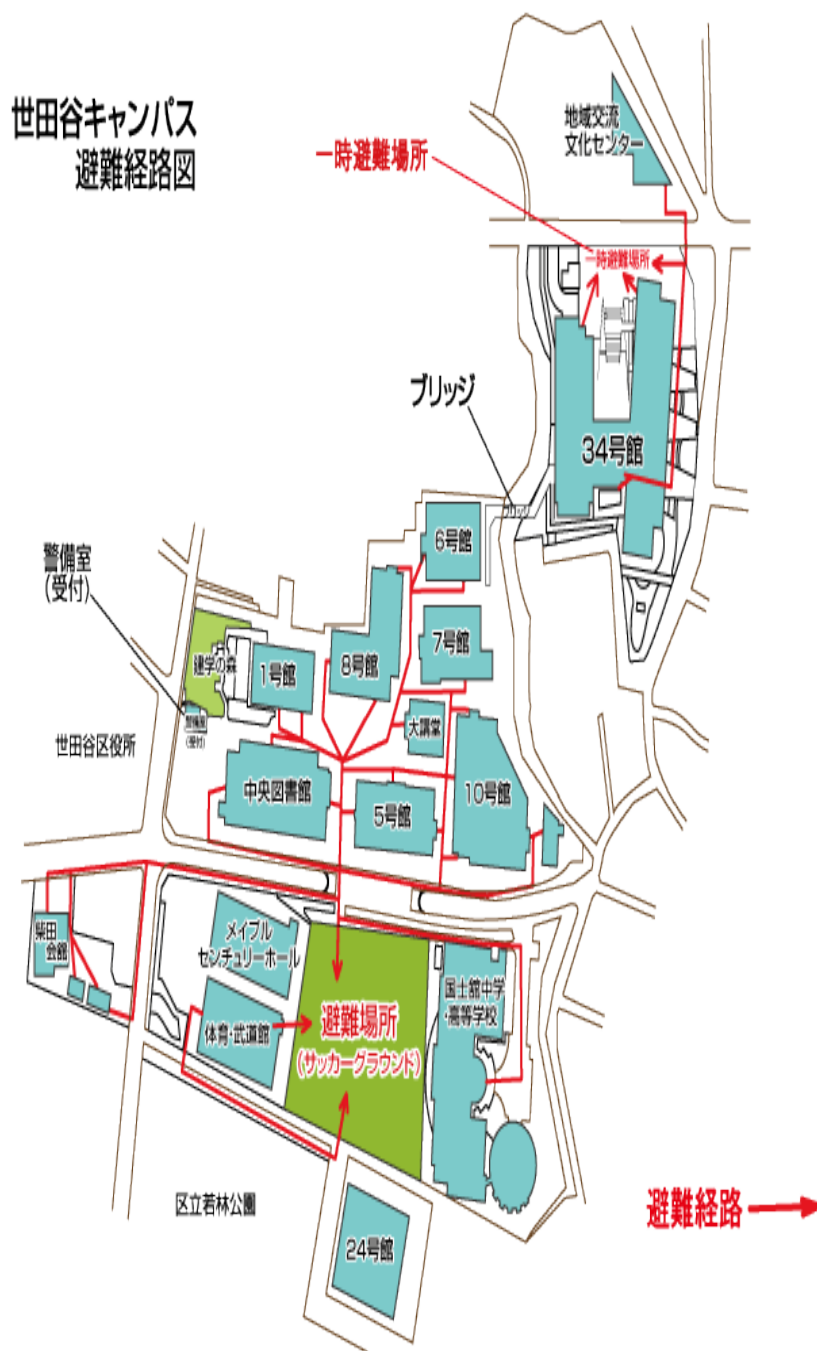
Fax : 03-5481-3153 (政経学部事務室)

- ◆ 大会当日に連絡が必要な場合は、上記の連絡先までご連絡ください。
- ◆ 大会第1日目の受付は、中央図書館地下1階、多目的ホールのエントランス・ホールで行います。
- ◆ 大会第2日目の受付は、34号館1階のエントランス・ホールで行います。
(両日程で受付会場が異なりますのでご注意ください。詳細は、本プログラムのキャンパス・マップをご参照ください。)
- ◆ 大会本部に御用のある方は受付カウンターにお申し出ください。

【その他】

- ◆ 各セッションの教室割は大会当日、受付にてお知らせいたします。
- ◆ 緊急時の避難経路については、下記の避難経路図および各教室の入り口に設置してありますボードをご覧ください。
- ◆ 駐車場の用意はございませんので、自家用車でのご来校はお控えください。
- ◆ 全国大会の最新情報は大会ホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。
(全国大会ホームページのアドレス : <http://www.jepa2015.com/>)

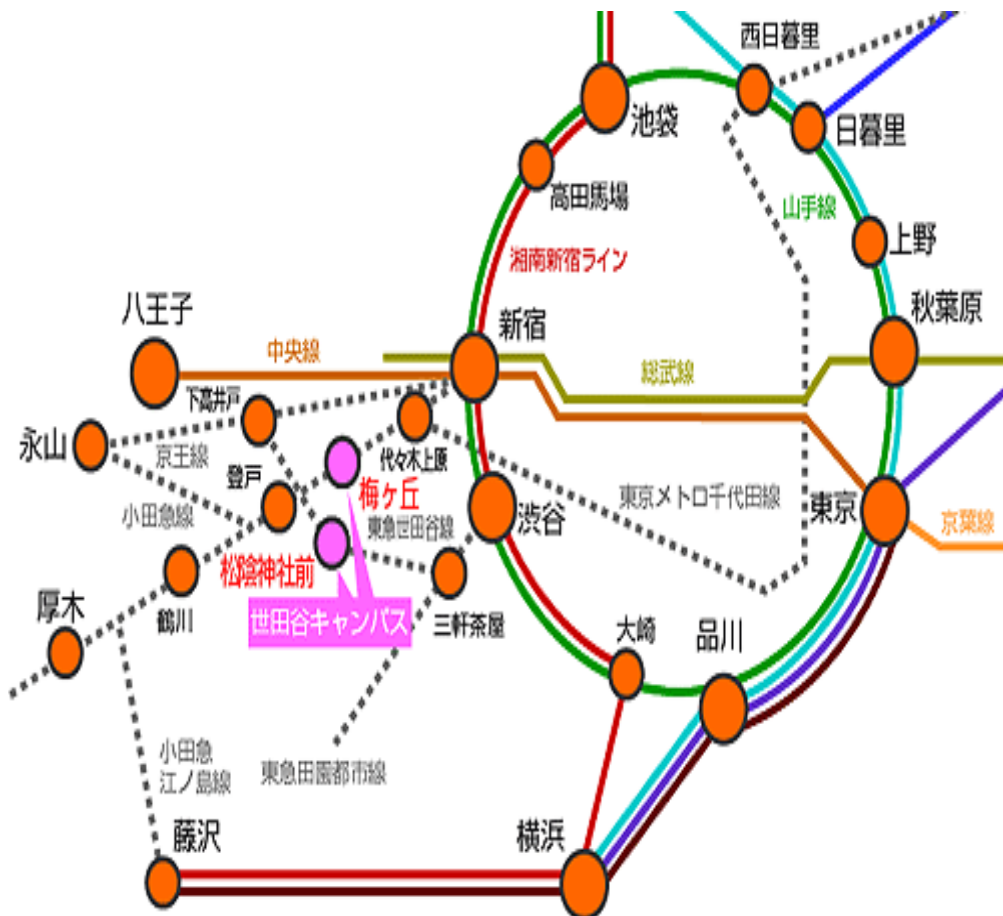
避難経路図



国士舘大学(世田谷キャンパス)までのアクセス

【交通】

- 小田急線「梅ヶ丘駅」下車，徒歩9分
- 東急世田谷線「松陰神社前駅」または「世田谷駅」下車，徒歩6分
- 渋谷駅 南口バス乗場 18番「世田谷区民会館行」バスで終点下車，徒歩1分



キャンパス周辺 Map



世田谷キャンパス Map

大会第2日目の会場
(受付)



大会第1日目の会場
(受付)

『経済政策ジャーナル』 学会特集号への投稿に関して

日本経済政策学会が機関誌として発行する『経済政策ジャーナル』は、学術誌として厳正な査読体制をとっています。本誌に掲載される論文は、招待論文や大会時の共通論題報告などを除いて、すべて複数の査読をパスした論文です。

現在、『経済政策ジャーナル』は、各巻 2 号ずつ刊行されています。そのうち、各巻第 1 号は、原則、会員からの随時の投稿論文を掲載対象としますが、第 2 号は毎年開催される全国大会において報告された論文の中から、報告者が掲載を希望し、査読をパスした論文が、短縮された形で掲載されます。

掲載される短縮論文の体裁は、本誌 1 ページにつき平均 20 字 ×40 行 ×2 段で 4 ページを超えることは出来ません。したがって、各論文は概算で 6,000 字ほどになりますが、ページ数には図表も含まれます。また、制限内に収めるために、図表を判別できないほど縮小することも認められません(編集委員会の判断による)。

なお、学会特集号への投稿論文に関しては、すでに全国大会で座長と討論者による批評を経て必要な修正が施されているということを前提として、該当する論文の査読は、通常の査読(各巻第 1 号)よりも手続きが簡便化されます。2011 年度までは、全国大会において報告されたフルペーパーを必要に応じて修正したものを査読対象としていましたが、2012 年度からは、短縮論文を査読対象としています。短縮論文用のテンプレート(ワードファイル)は学会ホームページ(<http://jepa.jp/>)もしくは第 72 回全国大会ホームページ(<http://www.jepa2015.com/>)からダウンロードしてください。

今年度は、第 13 巻第 2 号に掲載する論文を募集することになりますが、国士舘大学における第 72 回全国大会が 5 月 30(土)、31 日(日)に開催されるので、学会特集号への投稿期限は 7 月 28 日(火)必着といたします。論文のハードコピー(片面印刷)2 部と同論文の電子ファイル(MS ワード 2003 形式ないしは PDF 形式)、そして他に投稿していないことを明記した文書と連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)の情報を下記宛先まで送付してください。もしくは、論文の電子ファイルおよび他に投稿していないことを明記した文書と連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)の情報を下記のメールアドレスにお送りください。

〒 101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1
明治大学商学部
千田亮吉 宛
e-mail: chida@meiji.ac.jp

2015年 4月 6日

日本経済政策学会会員各位

日本経済政策学会会長 中村 まづる
国際交流委員長・副会長 林 直嗣
第14回国際会議
プログラム委員会・委員長 飯田 隆雄
事務局長 矢尾板 俊平
運営委員会・委員長 益田 安良
副委員長 川崎 一泰

日本経済政策学会第14回国際会議のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度の日本経済政策学会第14回国際会議を、以下のテーマで、2015年11月7日(土)・8日(日)の両日、東洋大学において開催いたします。事務局は淑徳大学が担当いたします。

メインテーマ: *“Future of Young Generations and Welfare of Aging Society:
Roles of Public Sector and Private Institutions”*

全体会議1のテーマ: Welfare of Aging Society

全体会議2のテーマ: Future of Young Generations

詳細は以下の国際会議ウェブサイトをご高覧の上、振るってご報告、ご参加を頂きますようお願い申し上げます。8月以降にプログラムの編成ができましたら、同ウェブサイトにおいて逐次プログラムを更新して参りますのでご確認ください。

<http://www.soc.shukutoku.ac.jp/shumpei/jepaic2015/>

(「日本経済政策学会(JEPA)本部」ウェブサイトから「国際会議」⇒「第14回」でアクセス可能です。)

例年と同様に、参加登録、参加費振込、および宿泊申込を上記ウェブサイトのRegistrationのページからオンラインで受付けて参ります。国際会議の円滑な運営を図るため、なるべくオンライン登録・振込の期限(未定)までに登録をお願い申し上げます。それ以降は早期割引なしで大会当日の会場受付でのお支払いとなりますのでご留意下さい。

敬具

記

期間:2015年11月7日(土) ~ 8日(日)
会場: 東洋大学 白山キャンパス
参加費: 後日、学会ウェブサイトにてお知らせします。

※ 院生の方は当日の受付の際、学生証(または在学証明書)をご提示下さい。